

News Release

令和3年11月29日

阪神高速技術株式会社
神戸市立工業高等専門学校

阪神高速技術株式会社と神戸市立工業高等専門学校との 連携協力に基づく活動（PBL型授業）のお知らせ

阪神高速技術株式会社(本社：大阪市西区、代表取締役社長：立石 泰三)と神戸市立工業高等専門学校(学校所在地：神戸市西区、校長：末永 清冬)は、今般、令和2年9月24日に締結した連携協力に関する協定*に基づき、「高速道路における規制作業の安全に係る検討」をテーマとしたPBL型授業(Project/Problem-based Learning=課題/問題解決型授業)を開始しましたのでお知らせします。

※https://www.hex-eng.co.jp/topics/_assets/2020_0925_001.pdf

「阪神高速技術株式会社と神戸市立工業高等専門学校との連携協力に関する協定締結のお知らせ」

【検討テーマの背景】

阪神高速技術株式会社では、高速道路上において年間約8000件の規制工事を実施しています。規制工事を実施する際は、様々な安全対策を講じていますが、もらい事故が年間約80件発生しています。殆どは軽微な事案ですが、中には作業員の安全性に影響が及ぶ事案も発生しています。

【PBL授業の概要】

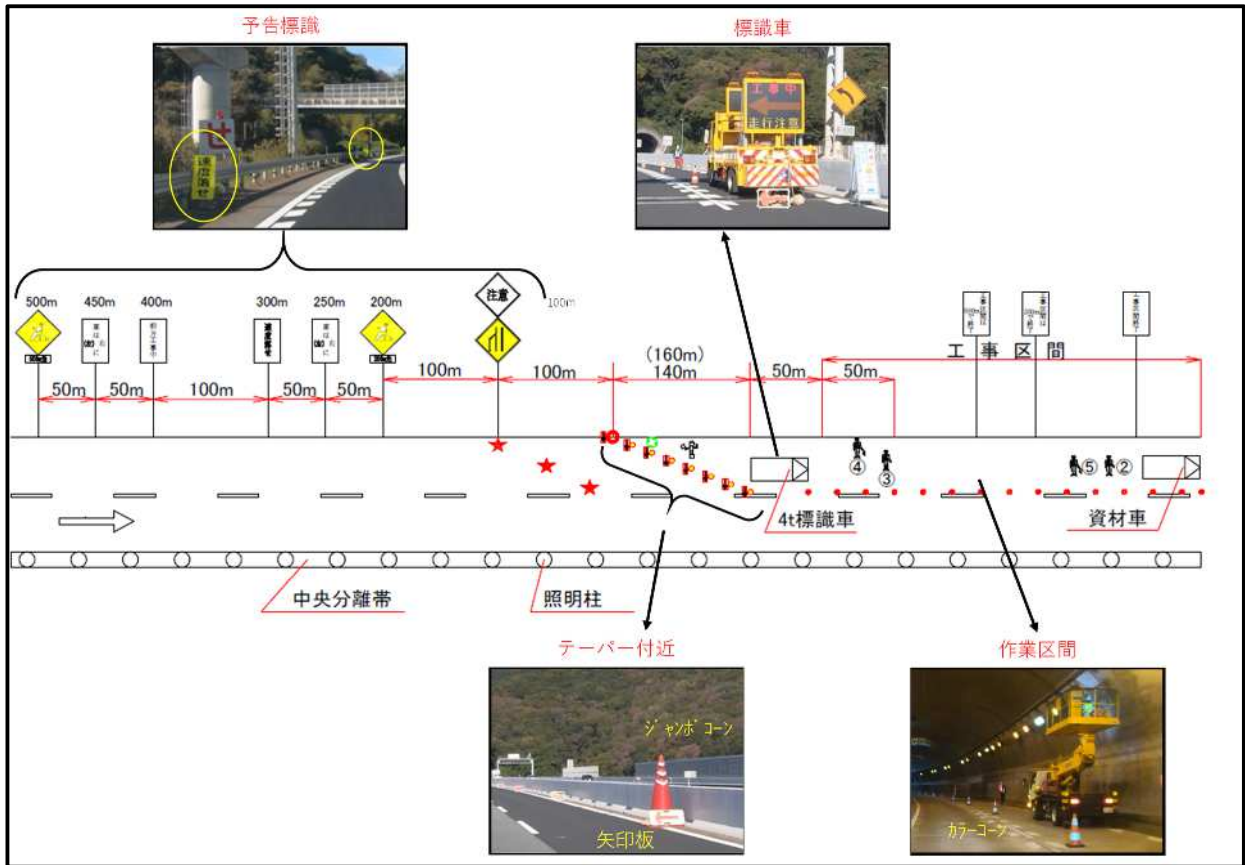
神戸市立工業高等専門学校専攻科では、創造力・実践力を育む教育方法として2019年よりPBL型授業を導入しています。このPBL型授業では、専攻学科2学年を対象に予め設定した解のない課題に対し、解決法を模索して解を導くことを行っています。また、授業の要所では報告会として、「テーマ設定発表会」、「中間発表会」、「最終発表会」を予定し、各学生にレポートの提出を求め進捗や成果の確認ができるようにしています。

規制作業においてももらい事故が発生していることもあり、連携協力に関する協定の一環として、本PBL型授業のテーマに「高速道路における規制作業の安全に係る検討」を設け、検討することになりました。また、検討成果について、実用性の高い成果が得られるなど現場適用の可能性が高いと判断できる場合は、別途、実用化に向けた共同研究などに進むことも視野に入れていきます。

【授業スケジュール】

- 2021年10月 ガイダンス、担当学生班の決定、テーマ設定など
- 2021年11月 問題解決のための作業
- 2021年12月 問題解決のための作業および中間発表会

➤ 2022年1月 問題解決のための作業および最終発表会



高速道路における規制作業の概要

【問い合わせ先】

阪神高速技術株式会社 経営企画部 経営企画課 電話：06-6110-7200（代表）

神戸市立工業高等専門学校

電話：078-795-3311（代表）